

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|-----------------------------|-------------|---|---|
| 家計 動向 関連 (北海道) | ◎ | 一般小売店〔土産〕（経営者） | ・夏の観光シーズンは終わるものの、これから秋を迎えて、混雑を避けて観光したいと考える旅行者の入込が期待できる。インバウンドについても、韓国からのゴルフ客が相当増えていることがプラス材料となる。これらのことから、今後数か月は繁忙期に近いような入込が続くと期待できる。 |
| | ◎ | 一般小売店〔酒〕（経営者） | ・景気の良い状況が数か月続いていることから、今後も同様の状況が続くと期待している。 |
| | ○ | 一般小売店〔土産〕（経営者） | ・夏休み期間中は、雨の日が少なかったこと、観光客船の寄港があったことから、売上は前年を上回った。東南アジアからの観光客が引き続き多くみられるほか、国内客においては春の賃上げがプラスとなっているなど、良いことばかりが重なっていることから、今後にも期待を持てる。ただし、旧市街地はシャッターが閉まったままの店舗が目立ち、人影も少ないなど、今後に向けて心配に思う点もある。 |
| | ○ | 百貨店（販売促進担当） | ・円相場が若干円安に振れ始めているものの、インバウンドの入込客数はいまだに伸びている。こうした傾向はしばらく続くと見込まれる。 |
| | ○ | スーパー（店長） | ・少し前から売上を増やすために、様々な取組を行っており、それらの取組が少しずつ定着し始めていることから、今後景気が上向くことを期待している。 |
| | ○ | 乗用車販売店（経営者） | ・大手自動車メーカーの不正問題の影響も落ち着きを取り戻しつつある。生産停止車種はいまだあるものの、受注を再開する車種がこれから少しずつ増えてくることになる。受注残もあるため、今後も売上は比較的安定して推移することになる。今後の景気が上向くかどうかは、個人消費の動向に左右されることになる。 |
| | ○ | 乗用車販売店（従業員） | ・新型車の発表を控えているため、今後の景気はやや良くなると期待している。 |
| | ○ | 観光型ホテル（スタッフ） | ・これまでと比べて、3か月先の宿泊予約が安定して推移していることから、今後の景気はやや良くなる。 |
| | ○ | 旅行代理店（従業員） | ・9月又は10月の旅行を予定している客が、個人客、団体客のいずれも前年を上回っている。新規の問合せも順調に推移していることから、今後の景気はやや良くなる。 |
| | □ | 商店街（代表者） | ・今後、国民の所得が増えていくような国の政策が行われ、景気が上向くことを期待している。自民党総裁選の行方にも大きく左右されることになる。 |
| | □ | 商店街（代表者） | ・今年は台風の被害が多いこともあって、ここに来て客足が鈍くなっている。今後についても、台風の被害が多くならないことを祈るばかりである。 |
| | □ | 一般小売店（経営者） | ・景気が上向くような明るい材料が見当たらない。 |
| | □ | 百貨店（売場主任） | ・国内客については、現在と同様のトレンドで推移するとみられる。インバウンドについては、今以上に上向くような要因が見当たらない。そのため、今後も同様の状況で推移することになる。 |
| | □ | スーパー（店長） | ・今後については、残暑が長引くとみられることから、秋物商材の動きは期待できない。冬物が動き出す11月頃まで大きな期待は持てない。 |
| | □ | スーパー（企画担当） | ・来客数の増加により売上は伸びているが、販売点数に伸びがみられない。夏物商材への消費が伸びた反動で買い控え傾向がみられることから、今後も景気は変わらないまま推移する。 |
| | □ | コンビニ（エリア担当） | ・ここ3か月、来客数の前年比に変化がみられない。コロナ禍が明けてから同じような状況で推移しているため、今後も景気は余り変わらない。 |
| □ | コンビニ（エリア担当） | ・最低賃金上がるものの、物価の上昇がいまだに続いていることから、明るい兆しとまではいえない。コンビニエンスストアの価格を割高と感じている客も多いため、今後も景気は変わらない。 | |
| □ | 衣料品専門店（経営者） | ・先行きが見通せないことから、今後も景気は変わらないとしか答えようがない。 | |

| | | |
|-------------------------------------|----------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 衣料品専門店（エリア担当） | ・前年ほど暑さが厳しくないこともあって、夏物商材の動きが前年よりも鈍くなっているものの、最低気温の下がり方が前年よりも早いことから、これから秋物商材に動きが出てくることを期待している。 |
| <input type="checkbox"/> | 乗用車販売店（従業員） | ・下取り車や中古車の価格は、輸出動向によっても変わってくることになる。米国の大統領選の結果も関係してくるため、先行きには不透明な部分がある。今は価格が高くても客の付いている車種もあるが、今後そうした車種の動きがどうなるかは分からない。そのため、今後の景気については判断がつかない状況にある。 |
| <input type="checkbox"/> | 自動車備品販売店（店長） | ・今後の景気が良くなるような情勢や情報などもないことから、景気は変わらない。 |
| <input type="checkbox"/> | 住関連専門店（役員） | ・客の購買意欲が上向くような環境変化がないため、今後も景気が大きく変わるようなことはなく、良くも悪くもない状況で推移する。 |
| <input type="checkbox"/> | その他専門店〔造花〕（店長） | ・9月以降、季節商材に動きが出てくることを期待したいが、値上げが続いていることが、購買動向にどのような影響を与えるか分からない。 |
| <input type="checkbox"/> | 高級レストラン（スタッフ） | ・今後も景気は大きく変わらない。ただし、前年から地元客の減少や客単価の低下が続いていることから、客の外出控えが強まり、売上がじわじわと減少する不安も拭えない。季節要因により、観光客が減少することも懸念される。 |
| <input type="checkbox"/> | 高級レストラン（スタッフ） | ・当地では、観光のピークが9月までとなるため、今後の景気は横ばいで推移することになる。 |
| <input type="checkbox"/> | スナック（経営者） | ・毎月の景気は余り変わらずに推移している。新規客が増えるような動きもないため、今後も同じように、変動のないまま推移する。 |
| <input type="checkbox"/> | 旅行代理店（従業員） | ・帰省需要のピークが過ぎたため、今後については、インバウンド客が増加するかどうかのポイントとなってくる。特に国際線の直行便利用によるインバウンド客の増加を期待している。 |
| <input type="checkbox"/> | 旅行代理店（従業員） | ・現状、販売量や来客数が増加するような材料が見当たらないため、今後については、現状維持のまま推移することになる。 |
| <input type="checkbox"/> | 旅行代理店（従業員） | ・今後、政治的に大きな動きが出てくることになる。そのような時期は旅行の動きが鈍る傾向があるため、今後の景気は、現状と同様に低迷状態が続くことになる。ただし、現在の円安、燃料高などの状況が大きく改善されることになれば、海外旅行の需要が回復することも考えられる。 |
| <input type="checkbox"/> | タクシー運転手 | ・今後の予約状況から、客が増加するような様子はない。観光客やイベント関係者などからの問合せ状況にも変化がみられない。これらのことから、今後も景気は変わらないまま推移する。 |
| <input type="checkbox"/> | タクシー運転手 | ・乗務員不足が顕著である。様々な媒体を活用して、乗務員の採用に向けて努力しているが、状況が変わっていないため、今後も景気は変わらない。 |
| <input type="checkbox"/> | タクシー運転手 | ・夏の繁忙期が終わり、これから秋冬に向かっていくなかで、景気が上向くような大きな動きや催しなどが見当たらないことから、今後も現状と同様の状況で推移する。 |
| <input type="checkbox"/> | 通信会社（企画担当） | ・毎年9月に発売される人気の通信端末による売上増加は見込めるものの、インフルエンサー以外の客をひきつけるような大きな話題性がないことから、現在と同様の状況が続くことになる。 |
| <input type="checkbox"/> | 美容室（経営者） | ・季節要因もあって、客の来店頻度が上向いており、多少ではあるが、来客数が増加している。また、賃金が徐々に上がっていることもあって、以前のような閉塞感も少しずつ和らいでいる。これらのことから、今後も景気のやや良い状態が続くことになる。 |
| <input type="checkbox"/> | 美容室（経営者） | ・販売量の動きや客の様子から、今後も現在と同様の状況で推移することになる。 |
| <input type="checkbox"/> | 住宅販売会社（経営者） | ・金利が上昇局面にあること、人件費や資材価格が高止まりしたままであることから、今後も厳しい状態が続く。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 商店街（代表者） | ・自民党総裁選の動向によって、今後の景気の方針性が決まってくることになる。 |

| | | |
|---|------------------------------|--|
| ▲ | スーパー（店長） | ・自民党総裁選や米不足などの影響もあって、先行きが読めない状況にある。ただし、消費者が安い商品を探して買い回りしていることだけは間違いないため、今後の景気はやや悪くなる。 |
| ▲ | スーパー（店長） | ・9月の自民党総裁選、11月の米国大統領選挙によって、今後の動向が左右されることになる。 |
| ▲ | スーパー（店長） | ・これから冬を迎えて、光熱費への支出が増えることになるため、客の買物の仕方が渋くなるとみられる。 |
| ▲ | スーパー（企画担当） | ・度重なる商材の値上げやエネルギーコストの上昇による家計の圧迫に加えて、自然災害や異常気象、実感の伴わない賃上げなどが、消費者心理にマイナスの影響を与えている。そのため、今後の景気はやや悪くなる。 |
| ▲ | スーパー（役員） | ・食料品の値上げが続いていることから、消費者の低価格志向が強まっている。今後、小売各社が多少無理をしても価格競争を強めていくことを心配している。 |
| ▲ | コンビニ（エリア担当） | ・商品の値上げが続くことから、客がし好品の購入を控えるようになるとみられるため、今後も売上の落ち込みが続くことになる。 |
| ▲ | コンビニ（エリア担当） | ・商品の値上げの影響で、今後、客の買い控えが顕著になることが懸念される。 |
| ▲ | 家電量販店（店員） | ・白物家電の動きが多少回復しているものの、エアコン特需が一段落していることから、全体的にそこまで良くない状況にある。これから暖房機器の販売が増える時期となるが、エアコンのような販売台数は期待できないことから、今後の景気はやや悪くなる。 |
| ▲ | 乗用車販売店（経営者） | ・燃料費が高止まりしていることから、これから冬を迎えて、需要が横ばい又は微減で推移するとみられる。 |
| ▲ | 乗用車販売店（従業員） | ・受注できる車両に限られていることから、受注量が目標を大きく下回っている。購入を希望している客は一定程度みられるが、新車、中古車のどちらも商材が不足していることから、今後の景気が上向くとは考えにくい。 |
| ▲ | その他専門店〔医薬品〕（経営者） | ・商品の値上げや輸送費の上昇に加えて、郵便料金の値上げも予定されていることから、今後の景気はやや悪くなる。特に郵便料金の値上げは、客へのダイレクトメール発送にも関係してくるため、影響が大きい。 |
| ▲ | 観光型ホテル（経営者） | ・日本銀行の追加利上げ、株価の暴落、物価高の影響で集客に伸びがみられず、客単価も低下に転じている。今後の予約状況も、例年と比べて落ち込んでいる。さらに、今秋に予定されている最低賃金の引上げ額が大きすぎることもマイナスであり、今後の景気悪化が懸念される。 |
| ▲ | タクシー運転手 | ・例年、夏の暑い時期が過ぎ、気温が低くなってくると、タクシーの利用客が減ってくる。今年も気温が低くなることでタクシーの乗り控えが生じるとみられ、9月以降のタクシー1台当たりの売上は8月よりも少なくなる。 |
| ▲ | タクシー運転手 | ・政局が混迷していることもあって、客の消費行動が様子見となっている。景気にとって良い材料とはなっていないことから、今後の景気はやや悪くなる。 |
| ▲ | 観光名所（従業員） | ・当地を舞台とした劇場アニメとのコラボ企画が9月末で終了する。アニメファンによる聖地巡礼は4月から勢いが落ちることなく続いてきたが、10月以降は一旦落ち着くとみられる。アニメファンの入込が減少する分だけ、来客数の減少につながるのではないかと懸念している。 |
| ▲ | 美容室（経営者） | ・最低賃金を上げるだけでは景気は良くならない。景気を上向かせるには、中小企業向けの対策も充実させていくことが望まれる。 |
| ▲ | その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員） | ・観光の最盛期を過ぎること、冬を控えて輸送量が減少するとみられることから、今後の景気はやや悪くなる。 |
| ▲ | 住宅販売会社（経営者） | ・物価の上昇率が所得の増加率よりも高いことから、分譲マンション購入に当たっての所得のボーダーラインが高くなっている。このままの状況が続くことになれば、分譲マンション市場は一層縮小することになる。中所得者層でも手の届く価格帯の住宅が供給できるように、政策面での支援が期待される。 |

| | | | |
|-----------------------------|---|-------------------------|---|
| | × | 商店街（代表者） | ・燃料価格が依然として高騰したままであることから、冬に備えて客の買い控えが強まるとみられる。また、インフルエンザなどの感染症が増えてくる季節でもあるため、客が外出を控えるようになるとみられる。これらのことから、今後の売上の伸びは期待できない。 |
| | × | 衣料品専門店（店長） | ・スーツなどの高価格帯商材は、下見の客が大きく減っており、動きがますます鈍くなっている。今後についても、先行き不透明な状況にあることから、景気は悪くなる。残暑が続くとみられることもマイナスである。 |
| 企業 動向 関連 (北海道) | ◎ | 農林水産業（経営者） | ・台風の影響が心配なところではあるが、これから主要果物の出荷のピークを迎えるため、今後の景気は良くなる。 |
| | ○ | 通信業（営業担当） | ・この夏は観光客数が大幅に回復しており、観光客による消費単価も上昇している。北海道全体にも大きな経済波及効果が生じているとみられることから、先々の景況感はやや良くなる。 |
| | ○ | 金融業（従業員） | ・企業においては、収益確保に向けた価格転嫁の動きが続くとみられる。一方、従業員については、夏のボーナスで定額減税を実感できること、酷暑乗り切り緊急支援の電気・ガス料金の負担軽減により、消費者マインドが改善することが期待される。インバウンドの回復もあって、個人消費は持ち直すことになり、今後の景気はやや良くなる。 |
| | ○ | 司法書士 | ・相続案件の受注は引き続き期待できる。取引先や同業者の様子から、住宅用地の売買、住宅新築も持ち直しているとみられることから、今後の景気はやや良くなる。 |
| | ○ | その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当） | ・日本全体の建設投資は安定した公共投資をベースに、今後も順調な推移が見込まれる。また、半導体や再生可能エネルギーなどに関連した民間設備投資も当面期待できる。これらのことから、今後の景気はやや良くなる。 |
| | □ | 食料品製造業（従業員） | ・当面は現在と同様の状況が続くとみられる。 |
| | □ | 食料品製造業（従業員） | ・営業担当者の変更と併せて、取引条件の提示方法を変えた効果が出てきている。今後、景気が一段と良くなることまでは考えにくいですが、8月と同様の水準で推移することになる。 |
| | □ | 建設業（経営者） | ・今後については、施工能力の問題もあって、新規受注は官民のいずれも減少すると見込まれる。また、これから秋に向けて人手不足の影響が大きくなることも懸念される。土木工事の進捗が天候に大きく左右されることも気掛かりである。 |
| | □ | 建設業（役員） | ・台風シーズンの到来や局地的な豪雨の影響が、今後の工事進捗における懸念材料となる。ただし、工期遅延が生じるような甚大な影響を受けない限り、計画どおりの完工高と利益を確保できる見通しである。 |
| | □ | 輸送業（支店長） | ・円安が続くなか、木材などの輸出貨物の新規引き合いがようやく出てきた。今後については、積雪期間を前にして、建材などの輸送量が増加することを期待しているが、いまだ料金改定に至らない客先もあるため、それらの料金改定が進まなければ、収支面が改善することまでは望めない。 |
| | □ | 広告代理店（従業員） | ・広告予算の見通しが良くないため、今後も景気は変わらない。 |
| | □ | その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者） | ・新規案件の話はいろいろ聞こえてくるが、中途採用や外注先の確保が難しく、案件を新たに受注することが難しい状況にある。 |
| | □ | その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員） | ・2024年度の北海道の鋼材出荷量が20%から30%ほど減るとの見通しがある。客先の2極化も進んでいることから、今後については厳しい状況になることが懸念される。 |
| | ▲ | ▲ | 金属製品製造業（従業員） |
| ▲ | ▲ | 建設業（従業員） | ・案件は減っていないものの、設計者や施工者が不足しているため、今後、予定どおりに施工できずに中止となる案件が増えることが懸念される。 |
| ▲ | ▲ | 司法書士 | ・物価上昇が続いていることから、今後の景気はやや悪くなる。また、全国的な米不足が報道されるなか、通常よりも高い金額で販売している状況もみられる。国や自治体が国民の負担を軽減するような施策を行うことが望まれる。 |

| | | | |
|----------|---|----------------|---|
| | × | — | — |
| 雇用 関連 | ◎ | — | — |
| (北海道) | ○ | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・前年の秋から求人数が減っていたことから、今年はその反動で求人数が増加することを期待している。 |
| | □ | 人材派遣会社（社員） | ・企業の人材需要は相変わらず底堅い。ただし、見方を変えると、企業が求めるスキルのある人材が少ないともいえる。このミスマッチを解消するためには、スキルのある人材を探すことに専念する必要がある。 |
| | □ | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・求職者の年齢構成から、仕事探しの意欲はシニア層で高いことがうかがえる。ただし、こうした傾向は、第1次産業とそれに付随する第2次産業が多い地方ならではの特徴かもしれない。 |
| | □ | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・景気が上向くような話が聞こえてこない。 |
| | □ | 職業安定所（職員） | ・当地における有効求人数は16か月連続で前年を下回っているものの、新規求人数は前年比プラス1.4%と8か月ぶりに増加した。産業や業種によってその度合いは異なっているものの、今後の物価上昇の状況によっては、経済活動、消費行動が先を見通せない状態となることも懸念される。 |
| | □ | 職業安定所（職員） | ・新規求職申込件数、新規求人数のいずれも減少している。新規求人数は減少が続いているが、求人数の減少が景気の悪化と直結しているとはいえない状況にあることから、今後も景気は変わらない。 |
| | □ | 学校 [大学]（就職担当） | ・給与の改定を行う企業が増えているが、採用動向に急激な変化が出てくることまでは考えにくい。 |
| | ▲ | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・地場の中小企業の動向から、景気が上向くような要素は特に見当たらない。むしろ物価高や悪天候などの影響で、景気が下向くことが懸念される。 |
| | × | — | — |